

## 「専門性アップ宣言」

青森県では青森県特別支援教育推進ビジョンを策定し、2019（平成31）年度～2028（令和10）年度の10年間について、共生社会の形成に向けて目標を掲げ取り組んでいます。その柱は5つあり、その1つに教職員の専門性の維持・向上があります。

専門性向上の一環として、教職員にそれぞれがどのような専門性を身に付けたいのかを宣言し、教職員全員で語り合い、課題解決に向かう取り組みをしようかと校長から提案しました。

プロ野球の春のキャンプで、選手が今年目標を声高らかにみんなの前で宣言している球団がありますよね。それを、本校でも実践してみました。

夏休み明け、校長、教頭を含め、職員室で1人ずつ「専門性アップ宣言！！」をしました。

私が宣言した内容と教職員が宣言した一部を紹介します。

- ・弘前聾学校の専門性を高める取り組みを具体的に進め、HP等で広く発信し、地域の方に存在を知ってもらうために、コーディネート能力を身につけること。（校長）
- ・子どもの意思、変化を見とる力です。子どもを見る目を鍛え、自分自身の見とりと支援をしっかりと見つめ直し、自己変革・自己更新していくことを続けていきます。そのために子どものスタンダードな育ちや発信行動等についての知識の習得にも力を入れたいです。
- ・身に付けたいことは、教科の指導力です。
- ・発音指導について調べ、指導技術の向上を図りたいと思います。
- ・手話を使った表現力の向上をねらいます。

先日、宣言の内容から4つのグループに分かれて話し合いを行いました。普段悩んでいることや効果的だった内容、今後どのような指導をしていけばいいのか、それぞれの教職員の立場で、こどもを真ん中にしたやりとりが行われていました。

本校教職員の活発な話し合いの様子を見ながら、専門性の向上を進めるにあたり、本校の子どもたちを思い浮かべながら1つ1つ議論し、実践を通じながら深めていくことが大切であることを再認識しました。

来月以降も、教職員の専門性向上につながるよう、月に1度専門性に関する話し合いの場を設定していきます。

専門性アップ宣言！！

